

# 第1章 高校生を取り巻く状況

## 1 本県の産業界の現状

本県の製造品出荷額は、45年連続で全国第1位、年間商品販売額は、全国第3位、農業産出額でも第8位であるなど、工業だけでなく、商業や農・水産業も盛んであり、自然を生かしたバランスのとれた産業構造を有している。

しかし、生産年齢人口は、2020年の約460万人から2040年には約400万人まで減少すると予測されており、深刻な労働力不足が課題となっている。

一方、愛知労働局が発表した、2023年10月末時点の外国人労働者数は210,159人、前年増減率は11.4%増加であり、東京都に次いで多く、過去最高を記録している。国籍別では、ベトナム人が52,122人（外国人労働者数全体の24.8%）、続いてブラジル人が44,092人（同21.0%）、フィリピン人が31,330人（同14.9%）となっており、外国人を雇用する事業所数も25,225カ所と前年度よりも5.8%増加し、過去最多で、製造業やサービス業を中心に多くの外国人が働いている。

こうした状況の中、本県においても、地域産業の担い手不足が懸念されており、生産年齢人口の減少や労働力不足に対応するため、国籍やジェンダーなど多様な人材が活躍できるよう、多様性を尊重した職場づくりを推進する企業が増加している。

また、2024年10月にはスタートアップ支援拠点「STATION Ai」がオープンし、イノベーション創出や年齢、国籍を問わない人材・企業の流入促進が期待されている。地域産業の持続的な発展には、既存産業の高度化とともに、新たなイノベーションの創出や人材確保に向けた取組が不可欠である。

## 2 県立高校における学科の設置状況

高等学校には、普通科、専門学科、総合学科の3つの学科があり、専門学科のうち農業、工業、商業等、職業に関する専門教育を主とする学科を職業学科と称している。産業教育は、主に職業学科で実践され、本県では職業学科7学科を53校に設置している。なお、普通科と職業学科の募集定員の比率は1994年に開催した本審議会において約75:25と定めており、現在もこの比率を維持している。

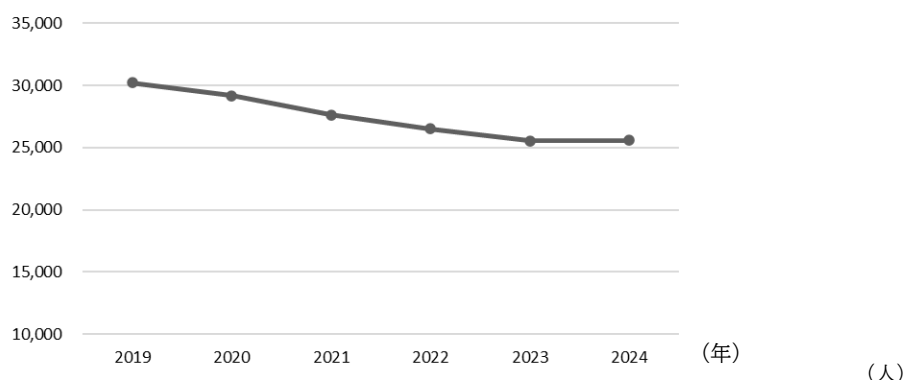
本県の県立高等学校（全日制）の各学科の設置状況と募集定員（2025年度）

| 学科     | 普通科    | 専門学科  |       |       |     |     |     |     |       |     | 総合<br>学科 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|----------|
|        |        | 職業学科  |       |       |     |     |     |     |       | その他 |          |
|        |        | 農業    | 工業    | 商業    | 水産  | 家庭  | 看護  | 福祉  | 計     |     |          |
| 学校数(校) | 97     | 8     | 16    | 15    | 1   | 15  | 2   | 4   | 53    | 9   | 14       |
| 定員(人)  | 24,920 | 1,120 | 3,680 | 2,560 | 160 | 880 | 80  | 160 | 8,640 | 480 | 3,240    |
| 割合(%)  | 66.8   | 3.0   | 9.9   | 6.9   | 0.4 | 2.4 | 0.2 | 0.4 | 23.2  | 1.3 | 8.7      |

※その他の学科とは、理数科、スポーツ科、国際教養科など職業に関する教科と異なる専門学科のこと

県立の職業学科の在籍者数は、2019 年以降、減少傾向にある。

(人) 職業学科の在籍者数の推移（直近 6 年間）（全日制）



|      | 農業    | 工業     | 商業    | 水産  | 家庭    | 看護  | 福祉  | 計      |
|------|-------|--------|-------|-----|-------|-----|-----|--------|
| 2019 | 3,471 | 12,939 | 9,820 | 507 | 2,704 | 389 | 391 | 30,221 |
| 2020 | 3,290 | 12,804 | 9,206 | 502 | 2,630 | 382 | 367 | 29,181 |
| 2021 | 3,084 | 12,345 | 8,477 | 503 | 2,485 | 377 | 355 | 27,626 |
| 2022 | 2,979 | 11,876 | 8,130 | 500 | 2,321 | 387 | 332 | 26,525 |
| 2023 | 2,870 | 11,372 | 7,889 | 483 | 2,202 | 381 | 328 | 25,525 |
| 2024 | 2,824 | 11,275 | 8,126 | 476 | 2,194 | 372 | 325 | 25,592 |

### 3 県立高校卒業者の進路状況

県立高等学校の新規卒業者のうち、就職した生徒の割合は、工業科が6割以上と最も高く、次いで、農業科、水産科、福祉科は5割程度、商業科は4割程度、家庭科は2割程度、総合学科は2割程度となっている。普通科はほとんどの生徒が進学しており、就職する生徒は1割に満たない。看護科については、2002 年度から本科3年間、専攻科2年間の5年一貫教育となっており、多くの本科生が専攻科に進学している。また、家庭科は、さらに高い専門性を身に付けるために大学や専門学校等へ進学する生徒の割合が高い。

なお、本県の高等学校新規卒業者のうち、就職する生徒数は、全国で最も高い水準にある。

本県の県立高等学校新規卒業者のうち就職した者の割合（全日制・定時制の合計）

| 学科      | 普通科 | 職業学科 |      |      |      |      |     |      |      | その他 | 総合学科 |
|---------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|
|         |     | 農業   | 工業   | 商業   | 水産   | 家庭   | 看護  | 福祉   | 計    |     |      |
| 就職者 (%) | 5.4 | 57.2 | 67.2 | 45.6 | 55.1 | 23.3 | 2.7 | 58.3 | 54.4 | 6.3 | 21.0 |

※2024 年 3 月卒業生 [学校基本調査]

高等学校卒業者の就職者数（国・公・私立の合計）

| 順位       | 1 位   | 2 位   | 3 位   |
|----------|-------|-------|-------|
| 都道府県名    | 愛知    | 福岡    | 北海道   |
| 就職者数 (人) | 8,569 | 5,986 | 5,901 |

※2024 年 3 月卒業生 [文部科学省調査]